

令和6年度

神戸リハビリテーション衛生専門学校

教育課程編成委員会 報告書

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン 準拠

学校法人スマイル・アカデミー

令和6年度の教育課程編成委員会は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って「教育課程」について、当校に関係の深い12名の委員（委員名簿）に編成について評価していただいた。

委員には、学校運営状況・教育課程をまとめた資料を配布し、教育課程編成について説明した上で意見等を聴取した。

1. 教育課程編成委員会 委員

氏名	所属	選出区分	任期
下田 修司	神戸市老人福祉施設連盟 評議員	(1)	1年
大沼 俊博	関西理学療法学会 理事	(2)	1年
峯田 大輔	医療法人社団緑双会峯デンタルオフィス 理事長	(3)	1年
藤原 聡	北須磨病院臨床技術部 部長	(3)	1年
戎 智史	名谷病院リハビリテーション科 主任	(3)	1年
安井 翔一	伊川谷病院リハビリテーション科 科長	(3)	1年
松本 優希	介護老人保健施設すみれ苑 主任	(3)	1年
木原 良輔	田辺中央病院リハビリテーション科 主任	(3)	1年
中森 友啓	榊原白鳳病院リハビリテーション科 主任	(3)	1年
御宮知 常喜	服部記念病院リハビリテーション科 主任	(3)	1年
嘉戸 直樹	神戸リハビリテーション衛生専門学校 校長・学科長		1年
徳山 貴子	神戸リハビリテーション衛生専門学校 学科長		1年

2. 日時・場所

第1回：令和6年9月24日（火）18時00分～19時00分

第2回：令和7年3月31日（月）18時00分～19時00分

神戸リハビリテーション衛生専門学校 会議室（Zoomを利用して各所属先から参加）

3. 委員会次第

第1回 委員会次第

- (1) 開会・学校長挨拶
- (2) 令和6年度 教育課程編成委員会の概要説明
- (3) 令和6年度 教育課程改善方策について
- (4) 意見交換
- (5) 次回の議事内容及び日程等

第2回 委員会次第

- (1) 開会・学校長挨拶
- (2) 令和6年度 教育課程改善報告
- (3) 質疑応答
- (4) 令和7年度 教育課程編成についての提言
- (5) 次回の議事内容及び日程等

4. 議事報告

(1) 令和6年度 教育課程改善報告

① 理学療法学科

- ・1年次の見学実習など、早期に臨床を体験して動機づけやモチベーションの向上につなげるための試みが実施されている。
- ・3年次の臨床実習においては、学生の情意面の成長を感じる。また、臨床実習終盤には、ある程度能動的な行動がみられる。
- ・理学療法士にとって必須となる動作分析について学ぶ時間が、十分に確保されている。

② 歯科衛生学科

- ・個々のレベルに応じた手厚いフォローができています。
- ・実技科目では、学習を効果的に進めるために最新機器を活用した技術習得実習を展開している。また、臨床実習に関しては、臨床実習指導者と学生への指導内容を共有している。

(2) 令和7年度 教育課程改善方針

① 理学療法学科

- ・近年、急性期では内部障害への対応が求められているので、内部障害理学療法学のなかで急性期に関する学習時間を増やすことを検討する。
- ・病態と理学療法評価が一致しないことがあるので、疾患の各論と理学療法学・理学療法演習のつながりを考えて講義を展開する。
- ・学内と学外の指導に相違が生じないように、実習指導者が学内での指導内容について学べる勉強会などを開催する。
- ・進級率が低いので、学生へのフォローを強化する。

② 歯科衛生学科

- ・完成年度を迎えるにあたり、引き続き指定規則及びガイドラインに沿った学生教育を行う。
- ・学内での学びと、臨床実習での学びに不一致がおこらないよう、実習指導者と共有認識をもつための意見交換を行う。

以 上